

2025年9月4日

NEWS LETTER

三井不動産株式会社

三井不動産グループの環境推進・社会貢献活動

『第32回 &EARTH 衣料支援プロジェクト～あなたの服で世界に笑顔を～』  
『第16回 &EARTH×SOLTILO FAMILIA SOCCER SCHOOL  
サッカー支援プロジェクト～あなたの協力で世界の子どもたちに夢と笑顔を～』

全国24の商業施設で10月18日(土)より順次開催

三井不動産株式会社と三井不動産商業マネジメント株式会社は、10月18日(土)より当社グループが運営する全国24の商業施設で『第32回 &EARTH 衣料支援プロジェクト～あなたの服で世界に笑顔を～』と、『第16回 &EARTH×SOLTILO FAMILIA SOCCER SCHOOL サッカー支援プロジェクト～あなたの協力で世界の子どもたちに夢と笑顔を～』を実施いたします。

◆『&EARTH 衣料支援プロジェクト～あなたの服で世界に笑顔を～』とは

本プロジェクトは、ご家庭で不用となった衣料品を集め、NPO 法人「日本救援衣料センター」(以下、JRCC)を通じて世界各国の難民や被災者の方々へ寄贈する活動です。2008年12月より、毎年春と秋の2回開催しています。前回までの累計実績は、参加者約13万9700人、寄贈衣料約690トンになりました。

『第32回 &EARTH 衣料支援プロジェクト～あなたの服で世界に笑顔を～』概要

<https://and-earth.mitsui-fudosan.co.jp/clothes/index.html>

- 受付時間 10:00～16:00
- 対象品 <洗濯済みでシミや傷のない品物または新品>  
T シャツ、シャツ(ワイシャツ含む)、ブラウス、ポロシャツ、ズボン、ジーンズ類、カーディガン、トレーナー、セーター、コート、子ども服(サイズ80cm以上の上下分かれた物)、毛布  
<新品のみ>  
タオル、シーツ、タオルケット、靴下、タイツ、ストッキング、パジャマ、下着
- 対象外・留意事項
  - \* 下記のは寄贈に適さないため対象外となります。  
ジャケット、スーツ、スカート、ワンピース、ダウンジャケット、和服、つなぎのベビー服、布団、衣類以外の物(靴・鞄・文具・ネクタイ、ベルト、帽子、手袋、マフラーなど)
  - \* 各開催場所へ受付時間内に直接お持ち込みください(郵送での受付はいたしていません)。
  - \* 受付後の衣料の返品などはいたしかねますのでご了承ください。
- 寄贈先 寄贈先は各国の赤十字、NGO 団体、国連難民高等弁務官事務所、世界銀行などからの現地情報に応じて JRCC にて決定し実施します。
- ・ 実績の詳細については JRCC のホームページ上(<http://www.jrcc.or.jp/>)にてご確認いただけます。



前回の衣料品回収風景(2025年5月～6月)

## ◆『&EARTH×SOLTILO FAMILIA SOCCER SCHOOL サッカー支援プロジェクト』とは

本プロジェクトは、プロサッカー選手である本田圭佑氏がプロデュースし、SOLTILO 株式会社が運営する SOLTILO FAMILIA SOCCER SCHOOL (以下、ソルティーロ)と三井不動産株式会社・三井不動産商業マネジメント株式会社が連携し、不用になったサッカー用品を回収し、JRCC を通じて、海外の子どもたちに寄贈する活動です。全 25 施設で衣料支援プロジェクトと同時開催します。

2025 年 5 月に実施した第 15 回の支援活動においてはサッカー用品(約 203kg)をご提供いただきました。

本プロジェクトでは、多くのお客さまが来場する商業施設において情報発信することで、より多くの方々にこのプロジェクトを支援いただき、子どもたちにスポーツの楽しさや夢を持つことの大切さを伝えます。

## 『第 16 回 &EARTH×SOLTILO FAMILIA SOCCER SCHOOL サッカー支援プロジェクト』概要

<https://and-earth.mitsufudosan.co.jp/soccer/index.html>

○受付時間 10:00～16:00

○対象品 ・スポーツウエア上・下(夏物・冬物)※ジュニアサイズは 80cm 以上のものが対象  
・サッカー・スポーツソックス、サッカースパイク、トレーニングシューズ  
・サッカーボール(空気を完全に抜いた状態でご持参ください)

○対象外・注意事項

・すね当てなど上記以外のサッカー用品や、穴があいているなど劣化や汚れの激しいものは受け付けておりません。  
・ウエアなどは洗濯済みのものまたは新品のものをお持ちください。  
・受付後の用具の返品などはいたしかねますので、予めポケット内等の中身をご確認ください。

○寄贈先

・寄贈先は、各国の NGO 団体からの現地情報に応じて JRCC にて決定し実施いたします。  
・実績の詳細については JRCC のホームページ上(<http://www.jrcc.or.jp/>)にてご確認ください。



会場でのサッカー用品回収の様子(2025 年 5 月)



カンボジアでのサッカー用品寄贈の様子(2025 年 6 月～7 月) ©SOLTILO

◆開催日・開催施設等 一覧

日程	実施施設	実施場所
10/18 (土)	三井アウトレットパーク 幕張(千葉県)	1F C-SITE 総合案内所前
	三井ショッピングパーク ららぽーと沼津(静岡県)	1F 「いしがまやハンバーグ」前
	アルカキット錦糸町(東京都)	1F 正面入口
10/19 (日)	三井ショッピングパーク ララガーデン川口(埼玉県)	1F 「GU」前
	三井ショッピングパーク ラゾーナ川崎プラザ	2F ルーファ広場入口 コンコース
	三井ショッピングパーク ららぽーと横浜(神奈川県)	1F 「ロクシタン・ビジュソフィア」前
	三井ショッピングパーク ららぽーと福岡(福岡県)	1F 「アインズ&トルペ」前
10/25 (土)	三井ショッピングパーク ララガーデン春日部(埼玉県)	1F 「リプロ」前
	三井ショッピングパーク ららぽーと湘南平塚(神奈川県)	1F YAMA 東エリア「ペテモ・smartcool」前
	三井アウトレットパーク 仙台港(宮城県)	1F センタープラザ
	三井ショッピングパーク ららぽーと門真・ 三井アウトレットパーク 大阪門真(大阪府)	1F センターコート西側(「ロフト」前)
10/26 (日)	三井ショッピングパーク ららぽーと新三郷(埼玉県)	北モール 2F 「ユニクロ」前
	三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY(千葉県)	南館 1F 「KANEKO OPTICAL」前
	三井ショッピングパーク ららぽーと甲子園(兵庫県)	1F ピンウィールコート
11/1 (土)	三井ショッピングパーク ららぽーと和泉(大阪府)	2F 和泉市情報コーナー前
11/3 (月・祝)	三井アウトレットパーク 入間(埼玉県)	1F センタープラザフォレストラウンジ前
11/8 (土)	三井ショッピングパーク ららぽーと柏の葉(千葉県)	本館 2F クリスタルコート
	三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド(神奈川県)	Cブロック 1F くじらの大屋根広場
	三井ショッピングパーク ららぽーと海老名(神奈川県)	1F 「タリーズコーヒー」前
	三井ショッピングパーク ららぽーと EXPOCITY(大阪府)	1F 「ヒュンメル」前
11/9 (日)	三井ショッピングパーク ららぽーと富士見(埼玉県)	1F 「リビングハウス」前
	三井ショッピングパーク ららぽーと立川立飛(東京都)	2F 「ジャーナルスタンダードリ्यूーム」前
	三井ショッピングパーク アーバンドック ららぽーと豊洲(東京都)	1F 「SESAME STREET MARKET」前
	三井アウトレットパーク マリンピア神戸(兵庫県)	1F 「ACE BAGS & LUGGAGE」前

※天候の状況により、開催日や実施内容が変更または開催中止となる場合があります。

なお、当社は寄贈衣料品およびサッカー用品の輸送費相当額を JRCC へ寄付しています。

当社グループの商業施設では、「Growing Together」の事業理念に基づき、地域のお客さまとともに成長し、ともに豊かになる社会をめざして、持続可能な環境推進・社会貢献活動を続けてまいります。

### ◆三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】 ・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」 [https://www.mitsufudosan.co.jp/esg\\_csr/approach/materiality/](https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/)

・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsufudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025年4月に、街づくりにおける環境との共生宣言「& EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の5つを定めています。本リリースの取り組みは、「& EARTH for Nature」における重点課題の4つに貢献しています。



緑を守り育む



生態系を豊かにする



地域の想いをつなぐ



自然資源を循環させる